



20 佐久穂環建第47号
平成20年10月20日

国土交通省 道路局長 様

佐久穂町長 佐々木 定男



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付国長企第37号で依頼のありました、標記の件について別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長野県 佐久穂町

現在地方が置かれている環境は、財政状況や環境の悪化、少子高齢社会等極めて厳しい状況にあります。

従来のように、多くの箇所を同時に整備することが難しいなか、既存の道路を最大限利用してゆくとともに、道路の必要性や事業効果などについて情報開示を徹底し、地域住民の声を聞いて真に必要な道路を見極めるための調査研究のもと、建設を進めていく必要があります。

地方にとって車は、生活に密着したものでありますが、住民が安心して暮らせるための道路整備、身近な道路整備はまだまだ十分とはいえないことも事実であります。

今地方は道路特定財源が一般財源化されたことに伴い、道路の改良、道路整備にどのくらいの予算を充当できるか不透明な状況であり、計画的な道路整備が難しい状況にあります。また、今後大きな経費がかかると予想される橋梁の維持管理や、日常の道路管理業務についても困難が予想されます。コスト縮減に向けて、建設費ばかりでなく、維持管理の手法や費用も考慮する必要があります。

今計画されている中部横断自動車道について考えて見ます。

- ・地域活力の向上の面から検討すると、今この地域を支えている農業生産物の高付加価値化による産業の振興、さらには若者の雇用の場を創造することができる企業の誘致等による産業経済の振興が期待されます。
- ・中越沖地震が発生し関越自動車道が利用できなくなったとき、上信越自動車道が救援物資を輸送するためのバイパスとして活用されました。この中部横断自動車道は、関東地域、中京地域、東海地域に大規模な地震が発生したとき、その地域への輸送に大きな役割を果たします。また食料を備蓄している長野県から各地域へ多くの物資を輸送できることでしょう。
- ・この地域には、幹線道路が千曲川沿いに国道141号しかありません。寛保の大洪水の時のような大雨が降ったとき国道141号は何箇所も被災することが予想されます。そんなとき生命線として機能することが期待されています。
- ・これからエネルギーが不足し、エネルギー変換されていく場合小さなエネルギーでも走れる道路整備が必要です。
- ・高規格道路網の整備は、二酸化炭素の削減効果による地球温暖化防止効果が期待されます。自然環境豊かなこの地域には必要不可欠な道路です。

- ・この地域の川上村などは、公共交通機関が発達していないことから、道路の整備が遅れていることから、子供たちが高等学校へ自宅から通学することができず、親元から離れて下宿生活を送りながら通学しています。この道路が完成すると、親元から直接通学が可能となります。
- ・救急患者搬送時間の短縮により、病院から離れた地域の人たちの救急救命率が向上することが期待されます。

北関東自動車道、上信越自動車道、中央自動車道、中部横断自動車道から構成される「関東大環状道路」が完成したとき臨海部と内陸部との連携を深め沿道の人々が安心して暮らせるネットワークの構築、人々の交流による広域的な観光、物流体系の確立や地域産業経済の振興等に寄与することが期待されています。道路はネットワークが完成してその効果を発揮し、この地域の人々、都会の人たちにとって数値だけでは表わすことのできない効果が数多くあります。

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状 ・少子高齢社会の進展 少子化高齢化の進展により、地域の存続が難しい集落も現れ てくることが予想されます。 ・観光地へのアクセス、産業振興 観光客の誘致 農産物、企業生産物の輸送時間の短縮が課題。 ・災害のない安全な道路 この地域を結ぶ主要道路は現在国道141号であり、災害発生時に緊急輸送路としての機能に不安がある。	○課題 ・地域の生活基盤の整備の必要性 若年層の定住化を計るための、交通の利便性の向上と交通の円滑化のための交通環境の創造。 ドライバーとしての高齢者を守る交通環境の創造。 地域間を結ぶ道路の整備。高齢者が元気に自由に移動できる地域の創造。 冬季間の道路の安全確保。 ・都会との交流 都会の人たちが観光地として魅力ある豊かな自然と触れ合う機会を増やすために、広域的な高速交通網の整備が不可欠。自然環境を損なわない、景観に配慮した道路整備。 販路の拡大につながる広域的な高速交通網の整備。 ・火災や災害発生時の緊急輸送路の確保。 安全・安心を確保する道路網の整備。 高規格道路網の整備。
---	---

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式③

長野県 佐久穂町

これからの道路環境は、住民の地域間の交流範囲の広域化に伴い、高規格道路等を整備し広域の幹線道路ネットワークを構築する。そして、農林業や企業集積など産業の振興を図る。

少子高齢社会に対応し、安全で安心の道路基盤の整備を推進する。現在ある道路の質の向上を目指す。そして、若者の定住化を図る。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）			様式④ 長野県 佐久穂町
○重点事項 ・産業活動の活性化	○代表事例 ・高規格交通ネットワークの整備	○期待する効果や評価等 ・地域農産物の高付加価値化によるシェアの拡大。企業誘致による雇用の創造による若者の定住化。都市部との連結による観光の振興	その他
・少子高齢社会における生活基盤の整備	・地域間を結ぶ道路環境の整備	・高齢者の安全、安心の確保。生活道路の整備による若者の定住化。	